

練習に励むチアチームのメンバーたち  
 有田市宮原町東で



### 有田市職員10人 初戦に向け練習に汗

# 応援団に初のチア結成

30日から京セラドーム大阪(大阪市)で開幕する第41回社会人野球日本選手権大会(毎日新聞社など主催)に出場する和歌山箕島球友会を応援しようと、ホームタウンの有田市の職員らでつくる応援団に初めてチアチームが結成された。20~60代までの有志10人で、1回戦(31日)のNTT東日本(東京)戦に向け、選手と同様に練習に励んでいる。



和歌山箕島球友会

## 挑戦

メンバーは全員、チア未経験者。地元よさこいチーム「A.S.T(アスト)」の人たちの指導を受けながら週1回、夕方に集まって応援ソングに合わせた振り付けの練習に励んでいる。

応援団の嶋田聡団長(43)は「強豪にぶつかる選手たちを応援で勇気づける」、チアの林遥香さん(27)は「しっかり練習して本番を迎えたい」と意気込んでいる。【倉沢仁志】



箕島球友会は1-3と2点を追いかける九回裏、1死一塁から浦

九回に追いつき分けるも手応え

練習試合

和歌山箕島球友会は26日、有田市宮崎町のマツゲン有田球場で、2001年大会で優勝し、今大会にも出場する強豪・三菱重工長崎(長崎県)と大会前最後の練習試合をした。

川拓人主将(26)、平井徹選手(24)が連続長打で2点を挙げて追いついた。写真。中越えに適時二塁打を放った平井選手は「実力は劣るかもしれないが試合は一発勝負。企業チーム相手でも勝てるチャンスは必ずある」と力強く話していた。



和歌山箕島球友会

## 挑戦

### 箕島高・吹奏楽部、演奏で応援♪

30日に京セラドーム大阪(大阪市)で開幕する第41回社会人野球日本選手権大会(毎日新聞社など主催)に2年ぶりの4度目の出場を果たした和歌山箕島球友会を応援しようと、地元有田市の県立箕島高校(藤村利行校長)の吹奏楽部が応援曲の練習に励んでいる。写真。31日のNTT東日本戦では、同市職員らでつくる応援団と共演する。

応援曲は夏の和歌山大会とは異なる上に、楽譜を渡されたのは今月18日。顧問の金尾明日香教諭は「しっかり練習して急ピッチで仕上げたい」と話している。25日には市応援団と合同練習を行った。【倉沢仁志】

同校吹奏楽部は毎年、夏の甲子園出場をかけた戦う高校野球の和歌山大会で、力強い

